

## 札幌学院大学 総合研究所紀要 投稿規程

1. 札幌学院大学 総合研究所紀要 (ISSN: 2188-4897) に投稿できる論文は、情報科学, 自然科学, 言語学, 教養教育, FD (ファカルティ・ディベロプメント), 教職研究の各分野とし, これら領域の研究や教育に関する内容を中心とする。
2. 本誌に掲載する論文の種類は, 「原著」, 「論文」, 「研究ノート」, 「総合報告」, 「調査報告」, 「資料」とする。原著は独創性があり実証的または理論的な論文とする。論文と研究ノートは理論的発展や定理の証明, 既存の手法の改良など, これまでの理論等に対して新しい視点を入れる論文とする。総合報告は当該分野を広い視野から総合的にまとめたものとする。調査報告は各分野の方法の適用を通じて, 主に実証的な観点から知見を提供する論文とする。資料は各分野で集められた公表に値する貴重な資料やデータを掲載する論文とする。
3. 論文の原稿は, 日本語または英語とする。日本語(英語)の場合は, 日本語(英語)による表題, 要約, キーワード, 英語(日本語)による表題, 要約, キーワードを付ける。
4. 投稿する論文は, 未公開のものに限る。
5. 論文投稿者のうち少なくとも1名は所員であること, あるいは編集委員会が認めた者であること。
6. 投稿原稿は, 別に定める執筆要項にしたがって作成する。
7. 論文は図・表・要約等を含めて Word 等の電子的ファイルで提出する。その際に論文の区別を申請する。
8. 原著は当該研究分野の2名以上による査読を経て, 編集委員会が採否を決定する。
9. 論文と研究ノートは, その内容に応じて著者が選択をする。
10. 著者校正は初校のみとし, 校正の際の原稿への加除は認めない。
11. 掲載された論文は, 著者に電子ファイル(PDF形式)を贈呈する。
12. 掲載された論文の著作権は, 原著は札幌学院大学に, それ以外の論文は本人に帰属する。

## 札幌学院大学 総合研究所紀要 執筆要項

1. 記述は簡潔かつ明瞭とすること。日本語の場合は現代かなづかい, 常用漢字とする。
2. 和文要旨は500字以内, 英文要旨は300語以内とする。また, 5個以内の日本語と英語のキーワードをつける。要旨ページを含めて10ページを目安とし, これを大幅に上回らないこととする。ただし, 総合報告は20ページを目安とする。
3. 句読点は「,」と「.」を用いる。
4. 本文の章・節等の記号は, 章にあたるものを1., 2., …とし, 第1章第1節にあたるものは1.1とする。以下これに準ずる。
5. 文章中の数式の文字はすべてイタリック(斜体)とする。ただし, sin, log などの関数記号は直立体とする。必要な数式には(1.1.2)(第1章題1節中の2番目の数式の場合)のように, 数式の後に番号をつける。あるいは一連番号でもよい。
6. 脚注は一連番号を参照箇所の右肩に<sup>(1)</sup>や<sup>(1,2)</sup>のように添え書きし, 参考文献のあとにその内容を書く。
7. 図・表は鮮明なものを各自用意する。
8. 図・表の挿入希望箇所を原稿内に指定するか, 各自レイアウトした原稿を作成する。
9. 日本語の論文では本文中の外国人名等の固有名詞は, 原綴りあるいは英語綴りを原則とするが, 公式の名称等として著名なものはカタカナでもよい。
10. 本文中の参考文献の引用は次の通りとする。著者が3人以上の場合には第1著者の姓を書き, 和文獻では“他”, 欧文獻には“*et al.*”を書き添える。  
(例)  
Little *et al.* (1989) は…

- …と述べている (Little *et al.*, 1989).
- …と論考している (中村 他, 2008; Nakamura *et al.*, 2015).
11. 参考文献は, 欧文と和文のものを混在させて, 著者の姓のアルファベット順で並べる. 同一著者の同年公刊の文献は年号の後ろに, *a*, *b*, *c*, …をつけて区別する. 雑誌などの巻と号の表記は, 7巻2号であれば, 7(2)のようにする. 欧文の書籍名はイタリックとする.
- (例)
- [1] 青木太朗 (2011*a*). 主成分分析とその応用, 日本技術出版, 東京.
- [2] 青木太朗 (2011*b*). 対応分析法の近年の動向, 計量行動科学, 15(1), 101-125.
- [3] Bustos, F.M. (1965). A strong score theory with applications, *Psychometrics*, 31(2), 99-111.
- [4] 加納雅裕・市村正子 (1990). 因子分析における統計的推測, *計量科学*, 18(1), 13-25.
- [5] 岡本忠司 (1986). 因子分析の基礎, 日科技研出版, 東京.
- [6] Rao, C.R. (1973). *Linear Statistical Inference and its Applications* (2nd ed.), John Wiley, New York.
- [7] Rao, C.R. (Ed.) (1989). *Educational Measurement* (3rd ed.). Macmillan. (池田算男 (訳) (1992). 教育測定学, 第3版, ふたみ出版.)
- [8] 柴田祐輔 (編) (1991). 項目反応理論, 東京出版, 東京.
12. 英文または英文要約は, 最終稿までに専門家の校閲を受けることを要する.